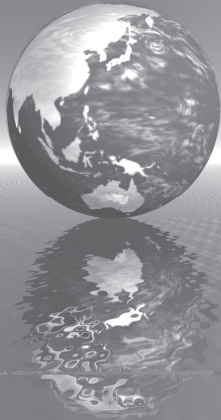


関西学院大学主催
秋季人権問題講演会



総合テーマ

「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2025～2029年度)

絵本とインクルージョン ～障害の社会モデルの観点から～

◆ 2025年12月3日(水)

● 13時20分～15時00分

場所／西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール
および オンライン同時配信

みしま

あきこ

◆ 講師／ **三島 亜紀子氏**
(絵本作家、関西学院大学非常勤講師)

◆ 参加方法／

【会場】事前申込不要

【オンライン】詳細は以下のURLまたは
右のQRコードをご確認ください。

<https://kg-humanrights.jp/kz5ie94>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学Webサイト等で配信する予定です。

■講演内容

絵本にどのようなイメージをお持ちでしょうか。豊かな想像の世界へといざなう絵本。美しい絵を楽しむ絵本。くすつと笑えるユーモラスな絵本。教育的なものや、癒しの効果をもつ絵本もあります。

少子化の影響もあってか日本ではまだまだあまり主流ではありませんが、社会問題や社会正義をテーマとする絵本の方野もあります。メルヘンではなく、子どもたちが近い将来向き合う現実を描き、考えるきっかけを与える絵本です。

この講演では、絵本を「社会を変える力をもつグラフィック・ナラティヴ」としてとらえ、絵本と「障害」や「福祉」とのつながりの歴史をひもときます。昔話に登場する障害者や、障害の描かれ方が問題になった1970年代の「ピノキオ論争」などを取り上げ、アイヌ文化の継承に尽力した知里真志保さんの絵本や、現在制作中の作品も紹介したいと思います。

■講師紹介

高校生の時にサン＝テグジュペリ『星の王子さま』を読み、児童文学作家を志す。夢の実現には学びと旅が必要だと感じて大学進学。福島県立津波大学短期大学部講師、東大阪大学教授、ケンブリッジ大学客員研究員を経て、立命館大学特別協力研究員。著書に『社会福祉学の〈科学〉性』(勁草書房)『妖怪パリヤーをやっつけろ!——きりふだは、障害の社会モデル』(絵・みしまえつこ/監修・平下耕三、令和7年度文部科学省「あなたと読みたい1冊」に選出)など多数。公益財団法人アイヌ民族文化財団主催「令和6年度アイヌの絵本コンクール」最優秀賞受賞。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansei.ac.jp